ACSES ニュースレター_２０５２号（2021 年３月８日）

発行：NPO 法人教育研究機関化学物質管理ネットワーク（ACSES）事務局

―目次（12 頁）―

[1] 化学物質関係事故、事件関係
◇日本バイオアッセイ研究センターにおける試験方法に関する手順書からの逸脱行為について〈厚生労働省〉／発がん性など調べる動物試験で記録を改ざん 厚労省 調査へ〈放送報道〉
◇その他の事故、事件
・消費生活用製品の重大製品事故:リコール製品で負傷事故等(電動アシスト自転車)〈消費者庁〉
・米国の２万超の組織に侵入か　中国系ハッカー集団、MS 攻撃〈Web 報道〉
◇事故・事件対策、措置、訴訟等
・労災レセプト電算処理システム　マスタコード〈厚生労働省〉
・不正アクセス行為の発生状況及びアクセス制御機能に関する技術の研究開発の状況を取りまとめました〈経済産業省〉
□大災害、原発事故対策
[福島原発事故]
・デブリと処理水、先見えず　新たな懸念材料も―福島第１原発・東日本大震災１０年〈Web報道〉
・事故から１０年、廃炉遠く　デブリは手付かず―東京電力福島第１原発〈Web報道〉
[原子力施設全般]
・欧州、脱原発でせめぎ合い　気候変動で再評価も―福島第１原発事故から１０年〈Web 報道〉
・[ドイツ] 核のゴミ埋設、独の選択　「学問軽視」建設中断〈新聞報道〉
[大災害対策]
・災害に備えた食品の備蓄に関する実態調査ーいざというとき、困らないためにー〈国民生活センター〉
[2] [特集] 新型コロナウイルス感染症
[状況]
◇省庁発表
◇マスコミ報道　見出し
[対策・予防]
◇省庁発表
◇ワクチン、検査薬、治療薬等
[3] 医薬品
◇使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部を改正する件（厚生労働省告示第 62 号）〈官報〉
◇療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等の一部を改正する件（厚生労働省告示第 63 号）〈官報〉
[4] 温暖化対策関係
◇「カーボンニュートラルに向けた自動車政策検討会」を新たに立ち上げます〈経済産業省〉
[5] 調査、公募、意見募集等
[公募、意見募集等]　１件　　[公募結果、意見募集結果]　２件
[6] その他省庁発表　　４件
[7] 関連会議等の開催案内、開催記録・報告、資料等
[開催案内]　　７件　　[開催記録、報告、資料等]　　３件
[8] その他
◇インフルエンザ、感染症関係：２件

木蓮（モクレン）

****

[1] ***化学物質関係事故、事件関係***

◇日本バイオアッセイ研究センターにおける試験方法に関する手順書からの逸脱行為について

＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tSzKm_nuzzKHIBY

日本バイオアッセイ研究センターにおける試験方法に関する手順書からの逸脱行為について

化学物質等の発がん性等を調査するための動物試験を実施している（独）労働者健康安全機構（以下「機構」という。）の日本バイオアッセイ研究センターにおいて、今般、試験方法に関する手順書から逸脱する行為が行われていた事実が確認されましたので、公表します。

１　これまでに確認された事実

日本バイオアッセイ研究センター(注1)で行われている動物試験のうち、現在実施している２－クロロベンゾイルクロリドという化学物質に対する直接投与試験(注2)を担当する職員１名が、試験方法に関する手順書から逸脱して、一部に弱った動物が発生した場合に、その動物に規定量の化学物質を投与しなかったにもかかわらず、投与したように記録していたことが、機構の調査により確認されました。

当該職員は、他の試験についても同様の行為を行ったと証言しています。また、元職員１名も、同様の行為を行ったと証言しています。ただし、いずれもこうした行為を行った期間、試験、内容を全て特定するには至っていません。

（注１）日本バイオアッセイ研究センターは、化学物質の有害性を調査するため、昭和 57 年に労働省（当時）が設置した国有の試験機関です。平成 27 年度まで厚生労働省が中央労働災害防止協会に業務運営を委託し、平成 28 年度からは機構の事業として、国が指定する化学物質の発がん性試験（ラット・マウスを用いた動物試験）を実施しています。

日本バイオアッセイ研究センターが実施した発がん性試験の結果は、厚生労働省の化学物質に対する規制の検討に当たって、参考データとして活用しています。

なお、厚生労働省が指定した化学物質について同センターが実施した試験のうち、今般の手順書から逸脱する行為を行った職員が関わっていた直接投与試験は 20 物質（別添資料１参照）で、試験結果は次のとおりです。

・発がん性について陰性の結果が得られた物質　13 物質

・発がん性について陽性の結果が得られ、現在リスク評価を行っている物質　２物質

・試験結果の評価を未実施の物質　３物質

・試験中の物質　２物質

現時点で試験結果を踏まえて規制に追加したものはありません（リスク評価・規制の仕組みについては別添資料２参照）。

このほか、日本バイオアッセイ研究センターは、民間企業や他の行政機関から試験を受託し、発がん性試験等を実施しています。これらの試験のうち、一部の直接投与試験には、今般の手順書から逸脱する行為を行った職員が関わっています。

（注２）日本バイオアッセイ研究センターで行われている動物試験は、大きく以下の２つに分けられます。

①直接投与試験　人が直接動物に化学物質を投与（専用器具を用いて動物の胃内に直接投与）する試験

②その他の試験　人が直接投与しない試験方法（化学物質をエサ・水に混ぜて動物に食べさせる方法、発生装置から空気中に散布して吸入させる方法）

２　厚生労働省において本件事案の把握・公表に至るまでの経緯

本件事案については、日本バイオアッセイ研究センター内部の指摘により把握され、機構からの報告を受けて、厚生労働省においても把握しました。

その後、指摘に対して関係者への聞き取り調査などを機構において行い、上記１のとおり事実関係が確認されましたので、公表に至ったものです。

３　今後の対応について

本件事案については、国の化学物質規制の検討に用いるため国が指定した化学物質について行われている試験における事案であること、また、内容も化学物質規制に影響しうるものであることから、厚生労働省において以下のとおり調査委員会及び専門家検討会を設置し、事実確認、発生原因等についての詳細な調査及び規制への影響についての調査、検討を行います。

（１）調査委員会の設置

弁護士､毒性試験の専門家等で構成する調査委員会を厚生労働省に設置し､以下のとおり調査を行う予定です。

①委員会の調査事項

・本件事案に関する事実関係の調査

・発生原因についての調査

・再発防止に関する提言

②調査スケジュール

・今月中に設置し、２～３ヶ月で調査結果をとりまとめることを想定

（２）専門家検討会の設置

化学物質の有害性調査等の専門家による専門家検討会を厚生労働省に設置し、以下のとおり調査、検討を行う予定です。

①検討会の検討事項

・手順書からの逸脱行為が疑われる試験について、逸脱行為が試験結果に与える影響の評価

・手順書からの逸脱行為が疑われる試験について、逸脱行為がリスク評価に与えた影響の評価

・手順書からの逸脱行為が疑われる試験について、再試験の要否等今後の対応策の検討

②検討スケジュール

・４月中に設置し、２～３ヶ月で調査結果をとりまとめることを想定

■別添資料１　手順書から逸脱する行為を行った職員が関わっていた直接投与試験のリスト

■別添資料２　国による化学物質のリスク評価・規制の仕組み

・<u>発がん性など調べる動物試験で記録を改ざん 厚労省 調査へ</u>

＜NHK　2021 年 3 月 7 日＞

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210305/k10012900441000.html?utm_int=all_side_ranking-social_002

厚生労働省が所管する独立行政法人の 50 代の職員が、発がん性などを調べる動物試験で、規定量の化学物質を投与していないのに与えたと記録を改ざんしていたことがわかりました。動物試験のデータは、国の化学物質規制の検討に使われるもので、厚生労働省は調査委員会を設置し、詳しく調べることにしています。

厚生労働省によりますと、独立行政法人「労働者健康安全機構」の 50 代の職員が、化学物質の発がん性などを調べる動物試験の記録を改ざんしていたということです。

この職員は、神奈川県秦野市にある「日本バイオアッセイ研究センター」で、化学物質の「2ークロロ ベンゾイルクロリド」を去年からマウスに直接投与していました。

しかし、一部のマウスが弱ってしまった際、規定量の化学物質を投与していないのに与えたと、事実と異なる記録をつけていました。

動物試験のデータは、国の化学物質規制の検討に使われるもので、この職員は 2013 年度以降、合わせて 20 の化学物質の試験に関わっていましたが「ほかの試験でも同様の行為をしたが、どの試験だったか覚えていない」と話しているということです。

また、この職員の前任だった元職員も、同じように事実と異なる記録をつけていたと話しているということです。

厚生労働省は、弁護士や専門家などでつくる調査委員会を設置し、事実関係などを詳しく調べることにしています。

厚生労働省は「このような事案が発生し残念だ。調査委員会で原因を調べて対応していきたい」と話しています。

――――――――――――――――――

◇*その他の事故、事件*

・消費生活用製品の重大製品事故:リコール製品で負傷事故等(電動アシスト自転車)
＜消費者庁　2021 年 3 月 5 日＞　https://www.caa.go.jp/notice/entry/023342/
https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms202_210305_01.pdf
特記事項:ブリヂストンサイクル株式会社が製造した電動アシスト自転車のリコール(無償点検・改修)
１．ガス機器・石油機器に関する事故：２件
（うち石油ストーブ（開放式）２件）
２．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、 製品起因が疑われる事故：９件
（うち電動アシスト自転車７件、電気洗濯機１件、除湿乾燥機１件）
３．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、 製品起因か否かが特定できていない事故：７件
（うちリチウム電池内蔵充電器１件、水栓（センサー付）１件、 電気冷蔵庫１件、充電器１件、
電気ストーブ（オイルヒーター）１件、 除湿機１件、階段移動用リフト１件）

・米国の 2 万超の組織に侵入か　中国系ハッカー集団、MS 攻撃
＜共同通信　2021 年 3 月 7 日＞　https://www.47news.jp/5936688.html
中国政府が支援しているとされるハッカー集団による米マイクロソフト(MS)の企業向け電子メールソフト「エクスチェンジサーバー」の脆弱性を悪用した攻撃が拡大していることが 6 日、分かった。ロイター通信は 2 万を超える米国の中小企業や地方自治体といった組織が侵入されたと報じた。
アジアと欧州でも数万の組織が影響を受けているという。米紙ウォールストリート・ジャーナル電子版は全世界で 25 万を超える可能性があるとの関係者の見方を伝えた。
ハッカー集団は、エクスチェンジサーバーの四つの脆弱性を悪用してメールアカウントへのアクセスなどをできるようにした。

◇*事故・事件対策、措置、訴訟等*

・労災レセプト電算処理システム　マスタコード
＜厚生労働省　2021 年 3 月 4 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tQU2ukQ70clfcBY

・不正アクセス行為の発生状況及びアクセス制御機能に関する技術の研究開発の状況を取りまとめました
＜経済産業省　2021年3月4日＞
https://www.meti.go.jp/press/2020/03/20210304003/20210304003.html?from=mj
---

□*大災害、原発事故対策*

[福島原発事故]

・デブリと処理水、先見えず　新たな懸念材料も―福島第１原発・東日本大震災１０年
＜時事ドットコム　2021 年 3 月 7 日＞
https://www.jiji.com/jc/article?k=2021030600387&g=soc&utm_source=top&utm_medium=topics&utm_campaign=edit
---

・事故から１０年、廃炉遠く　デブリは手付かず―東京電力福島第１原発
＜時事ドットコム　2021 年 3 月 7 日＞
https://www.jiji.com/jc/article?k=2021030600389&g=soc&utm_source=top&utm_medium=topics&utm_campaign=edit
---

[原子力施設全般]

・欧州、脱原発でせめぎ合い　気候変動で再評価も―福島第１原発事故から１０年
＜時事ドットコム　2021 年 3 月 7 日＞

https://www.jiji.com/jc/article?k=2021030600383&g=int&utm_source=top&utm_medium=topics&utm_campaign=edit

---

・[ドイツ] 核のゴミ埋設、独の選択　「学問軽視」建設中断

＜毎日新聞　2021 年 3 月 7 日＞

https://mainichi.jp/premier/politics/articles/20210304/pol/00m/010/012000c

---

[大災害対策]

・災害に備えた食品の備蓄に関する実態調査ーいざというとき、困らないためにー

＜国民生活センター　2021 年 3 月 4 日＞　http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20210304_1.html

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災から、この 3 月で 10 年の節目を迎えます。

内閣府が 2016 年に実施した意識調査によると、住んでいる地域に大地震、大水害などの大災害が発生すると考えている人は 6 割を超え、災害に対する取組みとして、38.2%の人が食料や飲料水を蓄えているとされています。また、「令和元年　国民健康・栄養調査」（厚生労働省）によると、災害時に備えて非常用食料を用意している世帯の割合は 53.8%にのぼります。

一方、PIO-NET（パイオネット：全国消費生活情報ネットワークシステム）には、災害用に備蓄している食品（以下、「備蓄食品」とします。）に関する相談が、2015 年度以降の 5 年あまり（2021 年 1 月末日までの登録分）の間に 207 件寄せられており、カビが生えた等、「安全・衛生」、「品質・機能、役務品質」に関する相談もみられます。

備蓄食品は家庭で長期間保存することが想定されるため、保存状況によっては安全性や品質に問題が発生する可能性が考えられます。

そこで、災害に備えた食品の備蓄に係る消費者アンケートを実施するとともに、消費者が自宅で備蓄している食品を収集し、品質等に係るテストを行い、消費者に情報提供することとしました。

消費者へのアンケート調査

- 飲料水、乾麺、缶詰を備蓄している人が多くみられました
- 約半数の人が、1 年に 1 回以上、備蓄食品の入れ替えを行っていました
- 1 割以上の人に、備蓄食品の品質に何らかの異常がみられた経験がありました
- 6 割以上の人は、備蓄食品の賞味期限が切れた経験がありました

消費者から収集した備蓄食品に関するテスト

外観調査

- 容器包装の外側に凹みや汚れ、サビ等がみられたものがありました

微生物試験

- 調べた 81 商品のうち 4 商品から細菌が検出されましたが、衛生上問題となるものはありませんでした

含まれている油脂の劣化

- カップ麺とスナック菓子について、含まれている油脂の劣化の程度を調べたところ、衛生上問題となるものはありませんでした

糊化度

- アルファ化米とパックごはんのでんぷんの糊化状態を調べたところ、アルファ化米は炊飯直後～24 時間後と同程度の状態、パックごはんは加熱して食べる必要がある状態でした

消費者へのアドバイス

- 備蓄食品は賞味期限や包装状態等を定期的に確認し、入れ替えを行いましょう。賞味期限が切れた食品は一律に廃棄するのではなく、適切な消費を心掛けましょう
- 食品の備蓄を行う場合は、栄養バランスを考え、ライフラインが停止した場合なども想定し、各家庭に合った食品を備えておくと良いでしょう

****

[2] *[特集] 新型コロナウイルス感染症*

[状況]

◇省庁発表

・新型コロナウイルス感染症の無症状病原体保有者の発生について（空港検疫）
＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=A_vCXDkvDnxju0GRY
・新型コロナウイルスに関連した患者等の発生について(3 月 4 日各自治体公表資料集計分)
＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E-vSTCk_HmxzqPaBY
・新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料（発生状況、国内の患者発生、空港・海港検疫事例）を更新しました
＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tSzKm_nuzzKGgBY
・自治体・医療機関向けの情報一覧（事務連絡等）（新型コロナウイルス感染症）2021 年を更新しました
＜厚生労働省　2021 年３月４日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tT3ccEqsxLKfwBY
・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）ページを更新しました
＜厚生労働省　2021 年３月４日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tT3ccEqsxLKf8BY

・2021 年２月時点「新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する 11 の知識」を掲載しました。
＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E-vSTCk_HmxzqOqBY

◇マスコミ報道　見出し

・免疫避けるウイルス、国内で変異の可能性　慶応大が分析
＜朝日新聞　2021 年３月５日＞　https://www.asahi.com/articles/ASP347F2NP34PLZU001.html
---

[対策・予防]

◇新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に関する公示の全部を変更する公示（新型コロナウイルス感染症対策本部）

［官報］　令和３年３月５日　特別号外　第 21 号　1 頁
https://kanpou.npb.go.jp/20210305/20210305t00021/20210305t000210001f.html
---

◇新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更に関する公示（新型コロナウイルス感染症対策本部）

［官報］　令和３年３月５日　特別号外　第 21 号　1～12 頁
https://kanpou.npb.go.jp/20210305/20210305t00021/20210305t000210001f.html
---

◇省庁発表

・賛同者とともに「広がれありがとうの輪」の取組を強化
～３月９日を「思いやりやエールを送る日に」～
＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=s0ty7ImfvszTCFAhY

◇ワクチン、検査薬、治療薬等

・自費検査を提供する検査機関一覧を更新しました。
＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tSzKm_nuzzKGkBY
・医療従事者等への接種について
＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tSzKm_nuzzKHUBY
・新型コロナワクチンについて
＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tSzKm_nuzzKHQBY
・新型コロナワクチンの供給の見通し
＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tSzKm_nuzzKHsBY

・新型コロナワクチンの有効性・安全性について
＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tSzKm_nuzzKHoBY
・新型コロナワクチンの副反応疑い報告について
＜厚生労働省　2021 年３月４日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tT3ccEqsxLKfoBY
・新型コロナワクチンの接種実績
＜厚生労働省　2021 年３月４日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tT3ccEqsxLKf0BY

・イタリア 新型コロナワクチンの輸出を差し止め EU で初めて
＜NHK　2021 年３月５日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210305/k10012898561000.html
・韓国でワクチン接種５人死亡　因果関係不明
＜日テレ　2021 年３月５日＞
https://news.yahoo.co.jp/articles/52b39ed5c338bfc1718d3f4be222a60fa8e88e96
・新型コロナワクチン接種でアナフィラキシー 国内２人目の報告
＜NHK　2021 年３月７日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210307/k10012901981000.html
・新型コロナワクチン接種アナフィラキシー3 人目報告 症状は改善
＜NHK　2021 年３月７日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210307/k10012902881000.html
・ワクチン計画見直し次々　自治体「一旦中止も」　供給量想定下回る見通し
＜毎日新聞　2021 年３月６日＞　https://mainichi.jp/articles/20210306/k00/00m/040/220000c
・子どもの自殺、過去最多　コロナの影響深刻、どう防ぐ？
＜朝日新聞　2021 年３月６日＞
https://www.asahi.com/articles/ASP366HLVP2KUTIL056.html?iref=comtop_7_01
****

[3] *医薬品等*

◇使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部を改正する件（厚生労働省告示第 62 号）

［官報］　令和３年３月５日　本紙　第 49 号　1～160 頁
https://kanpou.npb.go.jp/20210305/20210305g00049/20210305g000490001f.html

---

◇療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等の一部を改正する件（厚生労働省告示第 63 号）

［官報］　令和３年３月５日　本紙　第 49 号　160～166 頁
https://kanpou.npb.go.jp/20210305/20210305g00049/20210305g000490160f.html

○厚生労働省告示第 63 号

保険医療機関及び保険医療養担当規則（昭和三十二年厚生省令第十五号）第十九条第一項本文及び第二十条第二号ト、保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則（昭和三十二年厚生省令第十六号）第九条本文並びに高齢者の医療の確保に関する法律の規定による療養の給付等の取扱い及び担当に関する基準（昭和五十八年厚生省告示第十四号）第十九条第一項本文、第二十条第三号ト及び第三十一条本文の規定に基づき、療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等（平成十八年厚生労働省告示第百七号）の一部を次のように改正し、令和三年四月一日から適用する。ただし、同告示第十第一号の改正規定は、同年三月六日から適用する。

令和３年３月５日　　厚生労働大臣　　田村　憲久

次の表のように改正する。

（傍線部分は改正部分）

改　正　後	改　正　前
第一～第五　　（略） 第六　療担規則第十九条第一項本文及び療担基準第十	第一～第五　　（略） 第六　療担規則第十九条第一項本文及び療担基準第十

九条第一項本文の厚生労働大臣の定める保険医の使用医薬品 使用薬剤の薬価（薬価基準）（平成二十年厚生労働省告示第六十号）の別表に収載されている医薬品（令和三年十月一日以降においては別表第１に収載されている医薬品を、令和四年四月一日以降においては別表第２に収載されている医薬品を除く。）並びに投薬又は注射の適否に関する反応試験に用いる医薬品、焼セッコウ及び別表第３に収載されている医薬品 第七～第九　（略） 第十　厚生労働大臣が定める注射薬等 一　療担規則第二十条第二号ト及び療担基準第二十条第三号トの厚生労働大臣が定める保険医が投与することができる注射薬 インスリン製剤、ヒト成長ホルモン剤、遺伝子組換え活性型血液凝固第Ⅶ因子製剤、濃縮人血液凝固第Ｘ因子加活性化第Ⅶ因子製剤、乾燥人血液凝固第罨因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第皿因子製剤、乾燥人血液凝固第Ⅸ因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第Ⅸ因子製剤、活性化プロトロンビン復合体、乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体、性腺刺激ホルモン放出ホルモン剤、性腺刺激ホルモン製剤、ゴナドトロピン放出ホルモン誘導体、ソマトスタチンアナログ、顆粒球コロニー形成刺激因子製剤、自己連続携行式腹膜潅流用潅流液、在宅中心静脈栄養法用輸液、インターフェロンアルファ製剤、インターフェロンベータ製剤、ブプレノルフィン製剤、抗悪性腫瘍剤、グルカゴン製剤、グルカゴン様ペプチド－１受容体アゴニスト、ヒトソマトメジンＣ製剤、人工腎臓用透析液（在宅血液透析を行っている患者（以下「在宅血液透析患者」という。）に対して使用する場合に限る。）、血液凝固阻止剤（在宅血液透析患者に対して使用する場合に限る。）、生理食塩水（在宅血液透析患者に対して使用する場合及び本号に掲げる注射薬を投与するに当たりその溶解又は希釈に用いる場合に限る。）：フロスタグランジンＩ$_2$製剤、モルヒネ塩酸塩製剤、エタネルセプト製剤、注射用水（本号に掲げる注射薬を投与するに当たりその溶解又は希釈に用いる場合に限る。）、ペグビソマント製剤、スマトリプタン製剤、フェンタニルクエン酸塩製剤、複方オキシコドン製剤、ベタメタソンリン酸エステルナトリウム製剤、デキサメタソンリン酸エステルナトリウム製剤、デキ	九条第一項本文の厚生労働大臣の定める保険医の使用医薬品 使用薬剤の薬価（薬価基準）（平成二十年厚生労働省告示第六十号）の別表に収載されている医薬品（令和二年十月一日以降においては別表第１に収載されている医薬品を、令和三年四月一日以降においては別表第２に収載されている医薬品を除く。）並びに投薬又は注射の適否に関する反応試験に用いる医薬品、焼セッコウ及び別表第３に収載されている医薬品 第七～第九　（略） 第十　厚生労働大臣が定める注射薬等 一　療担規則第二十条第二号ト及び療担基準第二十条第三号トの厚生労働大臣が定める保険医が投与することができる注射薬 インスリン製剤、ヒト成長ホルモン剤、遺伝子組換え活性型血液凝固第Ⅶ因子製剤、濃縮人血液凝固第Ｘ因子加活性化第Ⅶ因子製剤、乾燥人血液凝固第罨因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第皿因子製剤、乾燥人血液凝固第Ⅸ因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第Ⅸ因子製剤、活性化プロトロンビン復合体、乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体、性腺刺激ホルモン放出ホルモン剤、性腺刺激ホルモン製剤、ゴナドトロピン放出ホルモン誘導体、ソマトスタチンアナログ、顆粒球コロニー形成刺激因子製剤、自己連続携行式腹膜潅流用潅流液、在宅中心静脈栄養法用輸液、インターフェロンアルファ製剤、インターフェロンベータ製剤、ブプレノルフィン製剤、抗悪性腫瘍剤、グルカゴン製剤、グルカゴン様ペプチド－１受容体アゴニスト、ヒトソマトメジンＣ製剤、人工腎臓用透析液（在宅血液透析を行っている患者（以下「在宅血液透析患者」という。）に対して使用する場合に限る。）、血液凝固阻止剤（在宅血液透析患者に対して使用する場合に限る。）、生理食塩水（在宅血液透析患者に対して使用する場合及び本号に掲げる注射薬を投与するに当たりその溶解又は希釈に用いる場合に限る。）：フロスタグランジンＩ$_2$製剤、モルヒネ塩酸塩製剤、エタネルセプト製剤、注射用水（本号に掲げる注射薬を投与するに当たりその溶解又は希釈に用いる場合に限る。）、ペグビソマント製剤、スマトリプタン製剤、フェンタニルクエン酸塩製剤、複方オキシコドン製剤、ベタメタソンリン酸エステルナトリウム製剤、デキサメタソンリン酸エステルナトリウム製剤、デキ

サメタゾンメタスルホ安息香酸エステルナトリウム製剤、プロトンポンプ阻害剤、H_2遮断剤、カルバソクロムスルホン酸ナトリウム製剤、トラネキサム酸製剤、フルルビプロフェンアキセチル製剤、メトクロプラミド製剤、プロクロルベラジン製剤、ブチルスコポラミン臭化物製剤、グリチルリチン酸モノアンモニウム・グリシン・Ｌ－システイン塩酸塩配合剤、アダリムマブ製剤、エリスロポエチン（在宅血液透析又は在宅腹膜潅流を行っている患者のうち腎性貧血状態にあるものに対して使用する場合に限る。）、ダルベポエチン（在宅血液透析又は在宅腹膜濯流を行っている患者のうち腎性貧血状態にあるものに対して使用する場合に限る。）、テリパラチド製剤、アドレナリン製剤、ヘパリンカルシウム製剤、オキシコドン塩酸塩製剤、アポモルヒネ塩酸塩製剤、セルトリズマブベゴル製剤、トシリズマブ製剤、メトレレプチン製剤、アバタセプト製剤、ｐＨ４処理酸性人免疫グロブリン（皮下注射）製剤、電解質製剤、注射用抗菌薬、エダラボン製剤（筋萎縮性側索硬化症患者に対して使用する場合に限る。）、アスホターゼ　アルファ製剤、グラチラマー酢酸塩製剤、脂肪乳剤、セクキヌマブ製剤、エボロクマブ製剤、ブロダルマブ製剤、アリロクマブ製剤、ベリムマブ製剤、イキセ午ズマブ製剤、ゴリムマブ製剤、エミシズマブ製剤、イカチバント製剤、サリルマブ製剤、デュピルマブ製剤、ヒドロモルフォン塩酸塩製剤、インスリン－グルカゴン様ペプチド－１受容体アゴニスト配合剤、ヒドロコルチソンコハク酸エステルナトリウム製剤、遺伝子組換えヒト von Willebrand 乱因子製剤、ブロスマブ製剤、アガルシダーゼ　アルファ製剤、アガルシダーゼ　ベータ製剤、アルグルコシダーゼ　アルファ製剤、イデュルスルファーゼ製剤、イミグルセラーゼ製剤、エロスルファーゼ　アルファ製剤、ガルスルファーゼ製剤、セベリパーゼ　アルファ製剤、ベラグルセラーゼ　アルファ製剤及びラロニダーゼ製剤 二　（略） 第十一～第十五　（略）	サメタゾンメタスルホ安息香酸エステルナトリウム製剤、プロトンポンプ阻害剤、H_2遮断剤、カルバソクロムスルホン酸ナトリウム製剤、トラネキサム酸製剤、フルルビプロフェンアキセチル製剤、メトクロプラミド製剤、プロクロルベラジン製剤、ブチルスコポラミン臭化物製剤、グリチルリチン酸モノアンモニウム・グリシン・Ｌ－システイン塩酸塩配合剤、アダリムマブ製剤、エリスロポエチン（在宅血液透析又は在宅腹膜潅流を行っている患者のうち腎性貧血状態にあるものに対して使用する場合に限る。）、ダルベポエチン（在宅血液透析又は在宅腹膜濯流を行っている患者のうち腎性貧血状態にあるものに対して使用する場合に限る。）、テリパラチド製剤、アドレナリン製剤、ヘパリンカルシウム製剤、オキシコドン塩酸塩製剤、アポモルヒネ塩酸塩製剤、セルトリズマブベゴル製剤、トシリズマブ製剤、メトレレプチン製剤、アバタセプト製剤、ｐＨ４処理酸性人免疫グロブリン（皮下注射）製剤、電解質製剤、注射用抗菌薬、エダラボン製剤（筋萎縮性側索硬化症患者に対して使用する場合に限る。）、アスホターゼ　アルファ製剤、グラチラマー酢酸塩製剤、脂肪乳剤、セクキヌマブ製剤、エボロクマブ製剤、ブロダルマブ製剤、アリロクマブ製剤、ベリムマブ製剤、イキセ午ズマブ製剤、ゴリムマブ製剤、エミシズマブ製剤、イカチバント製剤、サリルマブ製剤、デュピルマブ製剤、ヒドロモルフォン塩酸塩製剤、インスリン－グルカゴン様ペプチド－１受容体アゴニスト配合剤、ヒドロコルチソンコハク酸エステルナトリウム製剤、遺伝子組換えヒト von Willebrand 乱因子製剤及びブロスマブ製剤 二　（略） 第十一～第十五　（略）

別表第１及び別表第２を次のように改める。

別表第１　　―省略―

別表第２　　―省略―

****

[4] ***温暖化対策関係***

◇「カーボンニュートラルに向けた自動車政策検討会」を新たに立ち上げます

＜経済産業省　2021 年３月５日＞

https://www.meti.go.jp/press/2020/03/20210305006/20210305006.html?from=mj
****

[5] ***調査、公募、意見募集等***

[公募、意見募集等]

◇「第５次国立大学法人等施設整備５か年計画（案）」に関するパブリックコメント（意見公募手続）の実施について

＜文部科学省　2021 年３月５日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afzGacw02789yIbI

[公募結果、意見募集結果]

◇若手研究者支援事業に 252 人選出 最大 5000 万円支給

＜NHK　2021 年３月７日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210307/k10012901951000.html

若手の研究者が研究に専念できるよう長期にわたって支援する国の事業が始まるのを前に、全国の応募者から対象となる研究者 250 人余りが選ばれました。

日本は欧米や中国に比べて研究力が低下しているとされていることから、自由な発想で研究に専念してもらうため、文部科学省は「創発的研究支援事業」として 630 億円余りの基金を新たに設立し、若手の研究者に研究資金として原則７年間、最大で 5000 万円を支給します。

新年度からの対象者を公募したところ全国から 2537 人の応募があり、書類審査と面接の結果 252 人が選ばれました。

所属する研究機関は東北大学が 27 人、東京大学が 22 人、京都大学が 20 人などのほか、金沢大学が８人、熊本大学が７人、徳島大学が４人などとなり、幅広い地域から選ばれたということです。

年齢別では、35 歳までが 28%、36 歳から 40 歳までが 42%、41 歳から 45 歳までが 29%、46 歳以上が 1%となり、全体の７割が 40 歳以下となりました。

対象となる若手研究者は３回にわけて合わせて 850 人程度を選ぶことにしていて、研究費は進捗（しんちょく）状況を審査しながら年度ごとに支給されるということです。

事業を運営する科学技術振興機構は「研究に専念して革新的な成果を出せるよう期待している」と話しています。

◇「マテリアル先端リサーチインフラ」採択機関の決定について

＜文部科学省　2021 年３月４日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afzAacwSzekli5bF

****

[6] ***その他省庁発表***

◇科学技術・学術政策研究所「新型コロナウイルス感染症等による日本の科学技術への影響と科学者・技術者の貢献―科学技術専門家ネットワークアンケートによる東日本大震災時との比較―」の公表について

＜文部科学省　2021 年３月５日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afzGacw02789yIbJ

◇「スーパーグローバル大学創成支援事業」（平成 26 年度採択）の中間評価（第２回）について

＜文部科学省　2021 年３月５日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afzGacw02789yIbP

「スーパーグローバル大学創成支援事業」（平成 26 年度採択）の 37 事業について，中間評価結果を決定しましたので，公表します。

◇感染症や災害の発生等の非常時にやむを得ず学校に登校できない児童生徒の学習指導について

＜文部科学省　2021 年３月４日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afzAacwSzekli5bG

◇TLS1.0／TLS1.1 による暗号化通信の無効化について

＜文部科学省　2021 年３月５日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afzGacw02789yIbS

****

[7] ***関連会議等の開催案内、記録・報告、資料等***

[開催案内]

・令和２年度第 15 回「石綿に係る疾病の業務上外に関する検討会」を開催します　　３月 12 日、非公開

＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tSzKm_nuzzKGABY

（１）個別労災請求事案に係る医学的事項について

（２）その他

・石綿に係る疾病の業務上外に関する検討会

＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tSzKm_nuzzKGYBY

・第 53 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和２年度第 13 回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）（ペーパーレス、Web 会議）の開催について

３月 12 日

＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tSzKm_nuzzKHgBY

（１）新型コロナワクチンの接種及び副反応疑い報告の状況等について

（２）新型コロナワクチンの先行接種者健康調査について

（３）その他

・薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会新開発食品調査部会遺伝子組換え食品等調査会（オンライン会議）資料

３月８日

＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=s0ty7ImfvszTCF4hY

１．ゲノム編集技術を利用して得られた魚類の取扱いにおいて留意すべき事項（関係団体ヒアリング）

２．ゲノム編集技術を利用して得られた魚類の食品衛生上の取扱いについて

３．その他

・産学連携による医薬品・医療機器等の研究開発の推進の在り方に関する検討会（第１回）の開催について

３月 11 日、オンライン会議

＜文部科学省　2021 年３月４日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afzAacwSzekli5bE

1. 本検討会について
2. 医療分野研究成果展開事業の概況、成果、課題について
3. 有識者からの情報提供
4. 総合討論
5. その他

・日本産業標準調査会　標準第一部会　第２７回金属・無機材料技術専門委員会　　3 月 19 日、WEB 審議

＜経済産業省　2021 年３月５日＞

https://wwws.meti.go.jp/interface/honsho/committee/index.cgi/committee/38170

1. 前回議事録の確認について
2. 産業標準の制定について
3. 日本産業規格の改正について
4. その他

・第４期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方に関する検討会（第６回）の開催について

３月 11 日、WEB 会議

＜文部科学省　2021 年３月５日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afzGacwO2789yIbN

1. 国立大学協会からのヒアリング
2. 大学研究所・大学共同利用機関法人関係者からのヒアリング
3. 自由討議
4. その他　※議題は現時点の予定です。

[開催記録、報告、資料等]

・第７回労働基準法施行規則第 35 条専門検討会化学物質による疾病に関する分科会　　３月５日

＜厚生労働省　2021 年３月４日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=s0twc0uEY508teAhY

議事等
ア 労働基準法施行規則第３５条別表第１の２第４号の１の物質等の検討について
イ 今後の検討事項について
ウ その他
提出資料
資料１－１ 化学物質評価シート（SDS 交付義務のある物質）
資料１－２ 化学物質評価シート（シャンプー液等による接触性皮膚炎）
資料２ 業務上疾病に関する医学的知見の収集に係る調査研究 報告書（2019 年３月）
資料３ 業務上疾病に関する医学的知見の収集に係る調査研究 報告書（2020 年３月）
資料４ 発がん性に係る検討について（事務局案）
資料５ 「芳香族アミン取扱事業場で発生した膀胱がんの業務上外に関する検討会」概要
資料６ 「芳香族アミン取扱事業場で発生した膀胱がんの業務上外に関する検討会」報告書
・労働基準法施行規則第３５条専門検討会化学物質による疾病に関する分科会　　３月５日、オンライン会議
＜厚生労働省　2021 年３月４日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2tQU2ukQ70clfwBY
（１）労働基準法施行規則第３５条別表第１の２第４号の１の物質等の検討について
（２）その他
・薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会議事録　　1 月 22 日
＜厚生労働省　2021 年３月５日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=0ysSj0n_3qyzaD1BY
（１）食品中の残留農薬等に係る残留基準設定について
（２）その他
****

[8] ***その他***

◇***インフルエンザ、感染症関係***

・宮崎県における高病原性鳥インフルエンザ発生（家きん国内 51 例目）に伴う野鳥緊急調査の結果について
＜環境省　2021 年３月５日＞　https://www.env.go.jp/press/109294.html

・茨城県城里町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内 41 例目）に係る搬出制限の解除について
＜農林水産省　2021 年３月４日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210304.html
********** 以上 **********